

感染症つてなに?

口を言つたりする傾向がある。その人たちに優しくて、戦いますが、ウイルスに負けて亡くなることも少くありません。

■熊本の企業も努力

口を言つたりする傾向がある。その人たちに優しくて、学ぶ大切なこと」と訴えました。

じゅぎょう くまTOMO サポーター オンライン授業

新型コロナウイルスや感染症について学ぼう。熊本市中央区世安町の熊本日日新聞社と、くまTOMOサポーターをつないだオンライン授業が11日あり、医師の小野友道先生が小中学生の質問に答えながら感染症の歴史やワクチン開発、新型コロナウイルスなどについて説明しました。(西山美香)

「感染症つてなに?」
D.r. 小野の特別授業
は、新聞博物館(熊日本社)
報道100年に「感染症」展に
関連して企画。熊本機能病院顧
教で、熊本大名譽の小野先生が講師を務め
ました。

■病原微生物つて
世界中で流行している「新型コロナウイルス感染症」。国際的には「COV-I D-19(ナインティーン)」といいます。小野先生は「『コロナ』は王様の冠のこと。ウイルスの形が冠に似ているから、コロナウイルスと呼びます」と

「ウイルスを見るために顕微鏡が必要」と小野先生。顕微鏡という特殊な顕微鏡が必要とすると、人の体は「戦闘モード」で、ウイルスの形が冠に似ているから、コロナウイルスと呼びます」と

「過去には病気の患者を隔離したり、その家族を避けたりして、神様や仏様にすがるしに祈つて造られた。アマ代り、人は感染症が恐ろしくなかつたそうです」「奈良の大仏も天然痘が収まるようになります。奈良の先生は「今まで病気になった人を避けたり、悪

い氣になるのは新型コロナウイルスにくつづいて、ウイルスが細胞に入れなくなる効果があり、病気にならないといいます。

「病原微生物のほかに、「熊本の企業を含めて現在世界中の研究者が作

る努力をしています」



▲熊日本社とオンラインで結び授業を視聴する子どもたち
QRコード
オンライン授業の動画を公開しています。<https://youtu.be/rUbDHOeWluU>

ワクチンについて質問も

「病原微生物があることも知つてほしい」と小野先生。「病原微生物のほかに、有用微生物があることも知つてほしい」と大村智先生が発見しました。生物の世界、細菌やウイルスなどに役立つ微生物がたくさんいると強調。「微生物を持つて、ぜひ新しい発見をしてほしい」と結びました。